



2020年度
決算概要

2021年5月12日
日揮ホールディングス株式会社
グループ財務部長
田口信一

グループ財務部長の田口です。

これから、2020年度の決算概要についてご説明させていただきます。

1. 2020年度ハイライト
2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
3. セグメント情報
4. 連結貸借対照表
5. 連結キャッシュ・フロー計算書
6. 受注の状況
7. 2021年度の業績見通し

1. 2020年度ハイライト



- 海外大型案件に加え、国内案件の順調な積み上げにより期初予想を上回る受注高を確保。
- 新型コロナウイルスの影響を受けながらも、遂行中案件は着実に進捗。
- 工期終盤の案件を中心とした順調なプロジェクト管理、販管費の抑制などにより、期初予想を上回る営業利益及び経常利益を達成。

3

最初に2020年度決算のハイライトです。

今年度はイラクの大型製油所近代化工事を受注したほか、国内で化学、バイオマス発電案件など順調な受注を重ね、期初予想を上回る6,800億円の受注高を確保しました。

新型コロナウイルス感染症の影響は続いています。期初の予想に反して厳しい状況が続いており、年度後半にかけての売上高急回復はありませんでしたが、遂行中案件は着実に進捗しています。

今期は、国内外の案件で順調なプロジェクト管理の結果、工事採算が改善した案件が複数ありました。また、販管費の抑制もあり、営業利益、経常利益は予想を上回りました。

2. 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (決算短信 P.8~9)



【億円】

	FY2019	FY2020	増減	期初予想
売上高	4,808	4,339	△ 468	4,800
売上総利益	433	437	+4	430
利益率	9.0%	10.1%	+1.1pt	9.0%
営業利益	202	228	+26	200
経常利益	223	255	+31	230
親会社株主に帰属する 当期純利益	41	51	+10	80
当期純利益	42	52	+9	
その他の包括利益	△ 185	247	+432	
包括利益	△ 142	299	+441	

4

次に連結損益計算書及び連結包括利益計算書です。

本日、「業績予想と実績の差異に関するお知らせ」として別途開示しましたが、前期比では、減収増益となりました。

売上高は前期比468億円減収の4,339億円となりました。期初予想も下回りました。期初予想では新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている事業環境が期中に正常化すると的前提を置いておりましたが、残念ながら改善が見られず、年度終盤に期待していた進捗率の急上昇はありませんでした。

売上総利益は前期比4億円増の437億円と期初予想を上回り、利益率も前期比1.1ポイント改善の10.1%となりました。第3四半期までに国内外案件でプロジェクトの順調な遂行による利益の増加がありました。第4四半期は見積失注費用が発生したもののプロジェクト損益は堅調に推移しました。

営業利益は前期比26億円増の228億円です。期初予想比で見ても販管費が減少したこともあり増益となりました。

経常利益は前期比31億円増の255億円。

親会社株主に帰属する当期純利益は前期比10億円増の51億円です。対期初予想では35%下回りました。

これは、第4四半期に減損損失29億円、投資有価証券評価損13億円を計上したことなどによるものです。それぞれ、原油価格の低迷に伴う米国の原油・ガス生産販売資産の減損と、UAEでの発電・造水事業の実質価額低下による評価減に

ります。

これら特別損失49億円はキャッシュ・アウトを伴わない一過性の損失です。

3. セグメント情報 (決算短信 P.15)



【億円】

		FY2019	FY2020	増減	
総合エンジニアリング	売上高	4,267	3,885	△ 381	△ 9%
	セグメント利益	120	168	+47	+39%
機能材製造	売上高	466	407	△ 59	△ 13%
	セグメント利益	67	58	△ 9	△ 14%
その他 (調整額含む)	売上高	73	46	△ 27	△ 37%
	セグメント利益	14	2	△ 11	△ 83%
合計 (連結)	売上高	4,808	4,339	△ 468	△ 10%
	セグメント利益	202	228	+26	+13%

5

次にセグメント情報です。

総合エンジニアリング事業は、新型コロナウイルス影響が続いたことで前期比で減収となりましたが、国内外案件の順調な遂行により増益でした。売上高3,885億円、セグメント利益168億円です。

機能材製造事業は、やはり新型コロナウイルス影響により全般に製品需要減が継続し減収減益となりました。売上高407億円、セグメント利益58億円です。

その他は減収減益でした。

4. 連結貸借対照表 (決算短信 P.6~7)



【億円】

	FY2019	FY2020	増減
流動資産	5,379	5,483	+104
固定資産	1,333	1,541	+208
総資産	6,712	7,025	+312

	FY2019	FY2020	増減
流動負債	2,283	1,970	△ 313
固定負債	519	878	+359
純資産	3,909	4,176	+266

JVキャッシュ 当社持分	1,419	1,970	+551
-----------------	-------	--------------	------

6

次に連結貸借対照表です。

流動資産は未収入金の増加などにより前期末比104億円増の5,483億円、
固定資産は子会社の新規連結などにより208億円増加の1,541億円、
総資産は312億円増加して7,025億円です。

流動負債は社債償還及び工事未払金減少により、前期末比313億円減の1,970億円。

固定負債は社債発行及び子会社の新規連結の影響により359億円増の878億円でした。

貸借対照表に計上していないジョイントベンチャーが持つキャッシュの当社持分は1,970億円です。

自己資本比率は59.4%でした。

5. 連結キャッシュ・フロー計算書 (決算短信 P.12~13)



【億円】

	FY2019	FY2020	増減
営業 キャッシュ・フロー	924	124	△ 799
投資 キャッシュ・フロー	193	△ 135	△ 328
財務 キャッシュ・フロー	△ 76	1	+78
現金及び現金同等物の増減	1,003	44	△ 958
現金及び現金同等物の期末残高	2,618	2,682	+63

7

次に連結キャッシュ・フロー計算書です。

営業キャッシュ・フローは124億円のプラスとなりました。

投資キャッシュ・フローは有形固定資産の取得、投資有価証券の取得による支出などにより135億円のマイナスでした。

キャッシュの期末残高は前期末比ほぼ横ばいの2,682億円です。

6. 受注の状況 (決算短信 P.20)



i) 受注高

【億円】

	FY2020実績	期初予想
海外	5,009	5,400
国内	1,821	1,300
合計	6,830	6,700

FY2020
主要受注案件

製油所近代化 (イラク)
バイオマス発電 (国内)
ガス処理設備 (サウジアラビア)

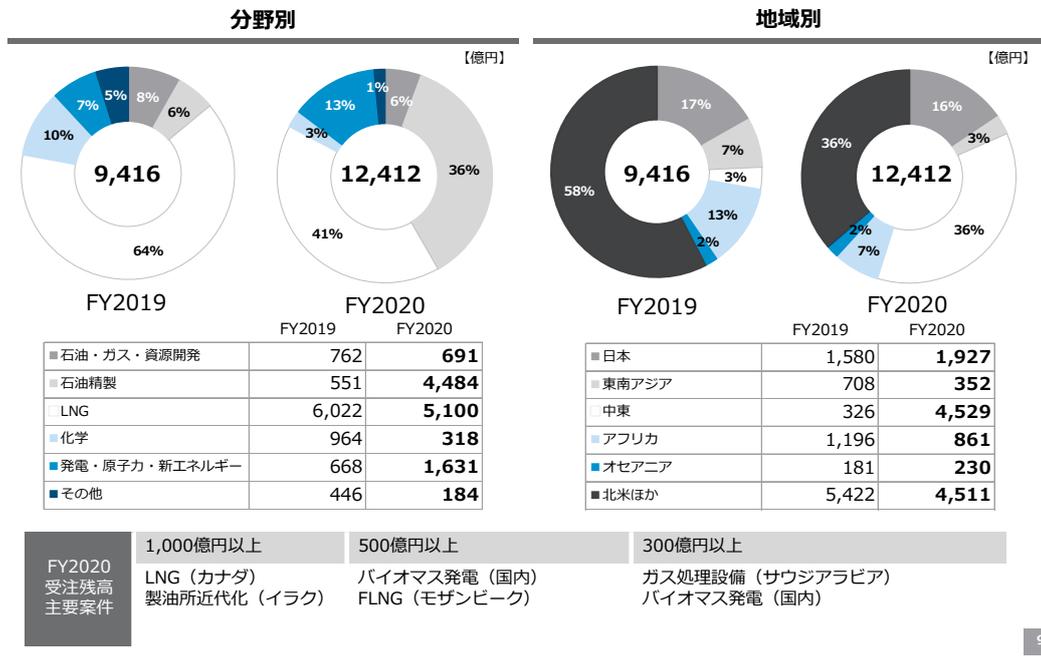
次に受注の状況です。

全体で期初予想を上回る6,830億円となりました。

海外では、客先の投資計画見直しにより、大型案件が翌期以降に後ろ倒しとなる傾向が顕著でした。イラクの製油所近代化に続く大型案件がなく、5,009億円にとどまりました。

国内では、バイオマス発電案件を中心に期初予想を大きく上回る1,821億円となりました。

ii) 受注残高



次に受注残高です。

2021年3月末の受注残高は1兆2,412億円となり今後数年のベースロードとなる仕事量を確保しています。

分野別ではLNGが41%、石油精製が36%と大きく、発電関係が13%に伸びています。

地域別は、北米と中東がそれぞれ36%です。

主な案件は、LNGカナダプロジェクト、イラク製油所近代化プロジェクト、国内のバイオマス発電案件などです。

7. 2021年度の業績見通し



【億円】

	FY2020 実績	通期予想
受注高	6,830	5,000
売上高	4,339	4,700
売上総利益	437	380
利益率	10.1%	8.1%
営業利益	228	160
経常利益	255	190
親会社株主に帰属する当期純利益	51	130
1株当たり配当金	12.0円	15.0円
換算レート(米ドル)	-	107円

10

最後に2021年度業績見通しです。

石油・ガス関係を中心としたEPCマーケットは不透明な状況が続いており、受注高は5,000億円を目標とします。

売上高は、遂行中のLNGカナダプロジェクト、イラク製油所近代化プロジェクトの売上計上が進むことから前期比増収の4,700億円を見込みます。

売上総利益は前期比減益の380億円、利益率も8.1%に低下の見込みです。遂行中の大型案件の数が減少する一方で新しい大型案件の受注が限定的となっていることから、稼働率低下のリスクを織り込んでいます。

これに伴い、営業利益は160億円、経常利益は190億円にそれぞれ減益となる見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益は、外国税額の減少により、130億円に増益の見込みです。

1株当たりの配当金は、連結配当性向30%を目途に15円の予想です。

この予想は、換算レート1米ドル107円を使っています。

以上で決算概要の説明を終わります。

參考資料

参考（2021年度 セグメント別 業績見通し）



【億円】

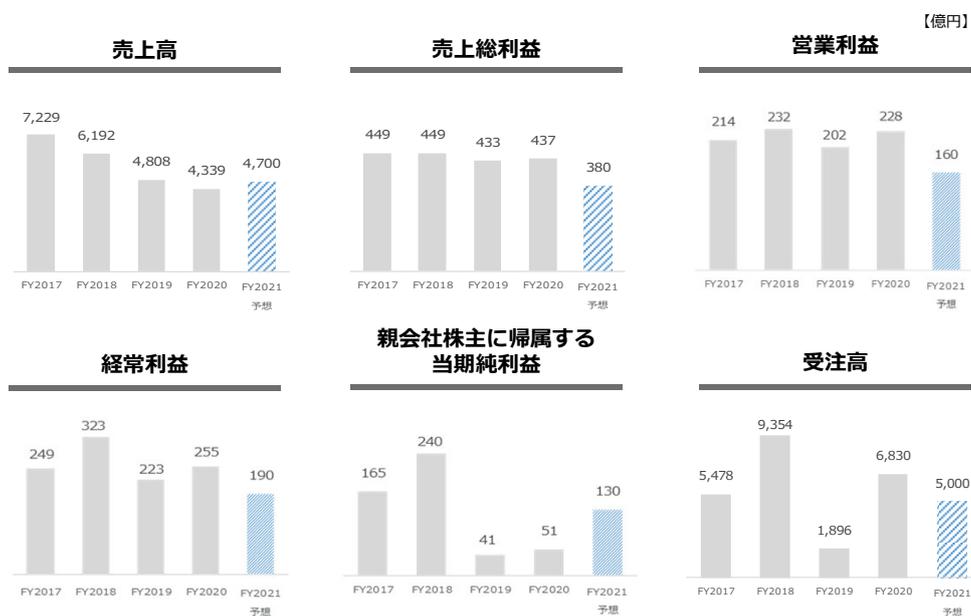
	総合 エンジニアリング	機能材製造	その他 (調整額含む)
売上高	4,240	400	60
セグメント利益	110	50	0
利益率	2.6%	12.5%	0.0%

参考（地域別売上高、受注高）



売上高			受注高		
	【億円】			【億円】	
	FY2019	FY2020		FY2019	FY2020
日本	1,930 (40.2%)	1,739 (40.1%)	日本	1,271 (67.1%)	1,821 (26.7%)
東南アジア	627 (13.0%)	480 (11.1%)	東南アジア	294 (15.5%)	97 (1.4%)
オセアニア	76 (1.6%)	6 (0.2%)	オセアニア	6 (0.3%)	3 (0.1%)
アフリカ	649 (13.5%)	480 (11.1%)	アフリカ	84 (4.5%)	173 (2.5%)
中東	488 (10.2%)	315 (7.3%)	中東	124 (6.6%)	4,521 (66.2%)
欧州・CIS	55 (1.2%)	16 (0.4%)	欧州・CIS	23 (1.3%)	5 (0.1%)
北米ほか	980 (20.3%)	1,300 (29.8%)	北米ほか	89 (4.7%)	207 (3.0%)
合計	4,808 (100.0%)	4,339 (100.0%)	合計	1,896 (100.0%)	6,830 (100.0%)

参考（業績推移 - 通期）



将来の見通しに関するご注意事項



本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。
本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞
日揮ホールディングス株式会社
グループ経営推進部 コーポレートコミュニケーショングループ
Tel : 045-682-8026 Fax : 045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com